

清水建設工業株式会社

2024年度

環境経営レポート

(対象期間:2023年12月1日～2024年11月30日)



発行日 2025年1月25日

発行責任者 清水 晟

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

清水建設工業株式会社

代表取締役 清水 晟

所在地

本社 〒520-0046 滋賀県大津市長等3丁目1番28号

本店 〒520-0034 滋賀県大津市三井寺町6番7号

唐崎倉庫 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1丁目22-7

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者 社長:清水 晟

連絡先:(077)523-0373

連絡担当者 総務部:清水 麻美

連絡先:TEL(077)523-0373 FAX(077)527-3025

事業活動の内容(認証・登録範囲)

特定建設業(建築工事業建築工事業、大工工事業、とび土木工事業、鋼構造物工事業

塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業)

滋賀県知事 許可番号(特一2)第11099号(許可期間:令和2年4月30日～令和7年4月29日)

事業の規模

	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	194	202	224
工事件数	件	25	26	22
従業員数	名	6	6	6

従業員は期初(12月1日)現在でカウントしています

当社の事業年度は毎年12月1日～翌年11月30日です。

事業組織

面積: m ²	本社	本店	倉庫
本社敷地面積	221	-	-
本社建物床面積	991	-	-
本店敷地面積	-	160	-
本店建物床面積	-	41	-
唐崎倉庫敷地面積	-	-	991
唐崎倉庫資機材置場床面積	-	-	392
従業員 名	3	0	3
認証・登録	○	○	○

過去3年間の環境負荷の実績

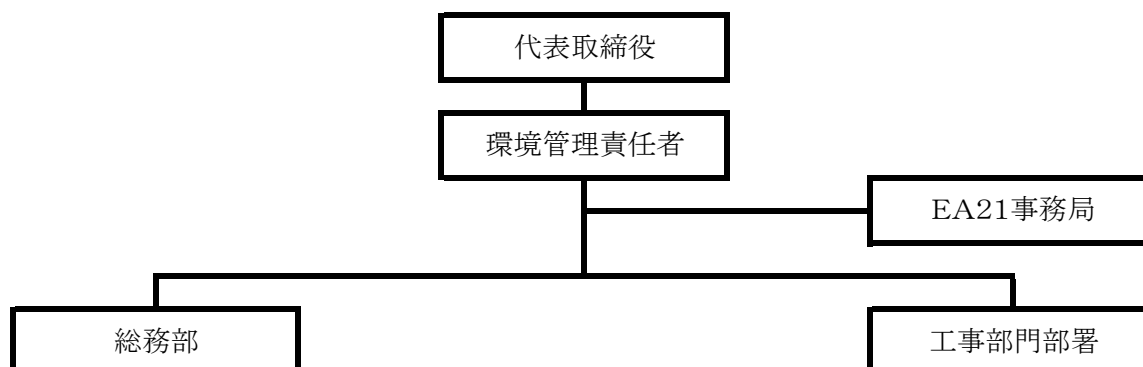
	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	13,686	10,659	11,658
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	106.9	52.8	57.7
廃棄物の排出量	t	36.5	26.7	33.8
水の使用量、排水量	m ³	265	258	288.0

*環境活動対象期間は毎年12月1日～翌年11月30日です

*購入電力の排出係数は、関西電力の調整後排出係数を使用しています2020年度、2021年度、2022年度は0.318kg-CO₂/kWhを使用しています

*化学物質の取扱いはありません

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県の天津地域を中心とした公共工事、一般住宅建設工事を中心とした事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境経営活動を計画的に取組み実施します。
 - ☆ 事務所などの電気使用量及び重機車両の燃料使用量を削減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄物に関して、適正な処理及びリサイクルに努めます。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 化学物質使用の場合適正管理に努めます。
 - ☆ 環境経営活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

2011年11月1日制定

2020年12月1日改訂

清水建設工業株式会社

代表取締役 清水 晟

3 環境経営目標とその実績

2011年11月より環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2020年度の実績値を基準値として2024年度（2023年12月1日～2024年11月30日）の運用実績について取りまとめました。

						次年度	次々年度
方針	取組項目	年度	2020年度	2024年度		2025年度	2026年度
		単位	(基準)	(目標)	(実績) (対基準値)	(目標)	(目標)
事務所などの電気使用量及び重機車両の燃料使用量を削減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	%	100%	96%	62.2%	95%	95%
		使用量	11,617	11,152	7,225	11,036	11,036
		(kg-CO2)	3,694	3,546	2,298	3,509	3,509
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	%	100%	96%	97.3%	95%	95%
		使用量	2,823	2,710	2,746	2,681	2,681
		(kg-CO2)	6,548	6,286	6,372	6,221	6,221
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	%	100%	96%	95.9%	95%	95%
		使用量	1,208	1,159	1,159	1,147	1,147
		(kg-CO2)	3,116	2,991	2,989	3,116	3,116
	二酸化炭素排出量の削減	%	100%	96%	87.3%	95%	95%
		(kg-CO2)	13,358	12,824	11,658	12,846	12,846
建設現場の廃棄物に関して、適正処理及びリサイクル	建設リサイクルで適正処理する建設現場（単位：％）	%	－	－	107%	－	－
		建設リサイクル率	84%	85%	89.6%	85%	85%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の削減 (単位：m ³)	%	－	96%	101.8%	95%	95%
		(m ³ /年)	283	272	288	269	269
	オイル吸着材の設置と適正管理 建設現場（単位：％）	%	－	－	100%	－	－
		車輛積載率	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の実施 建設現場（単位：％）	%	－	－	100%	－	－
		配慮施工率	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。（単位：回）	回数	－	－	100%	－	－
		(以上/年)	3	3	3	3	3

目標の説明や補足事項

- 基準年度（2020年度）は2019年12月1日～2020年11月30日とする
- 購入電力の調整後排出係数は、2019年度関西電力の0.318kg-CO₂/kWhとし、5ヶ年間固定する
- 廃棄物排出量は、工事の種類によりの排出量のバラつきが大きく基準年との比較が困難のため、建設現場からの廃棄物に対して性状を確認して建設リサイクル85%に取組む
- 水使用量については、事務所における水使用量の削減について実施する。また汚染、汚濁防止はオイル吸着材の車両への積載100%とする
- 環境配慮施工は、低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車両を100%使用する
- 化学物質の使用はありません。
- 2026年の目標は仮目標です。
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

4 環境経営計画

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
事務所などの電気使用量及び重機車両の燃料使用量を削減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃ 冬季20℃±1℃）	総務部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	① エコドライブに心がける ② 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ③ 暖機運転・アイドリングストップ ④ 環境に配慮した稼働	工事部
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場		
建設現場の廃棄物に関して、適正処理及びリサイクル	建設リサイクルで適正処理する 建設現場（単位：％）	廃棄物 ① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工事部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の削減 (単位：m ³)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	工事部
	オイル吸着材の設置と適正管理 建設現場（単位：％）	① オイル吸着材の設置 ② 濁水発生の点検	
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の実施 建設現場（単位：％）	① 低騒音・低振動型重機を使用する。 ② 排ガス規制適合車両を使用する。	工事部
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回)	① 地域の美化活動に参加する。	総務部

取組の紹介

- 1 節電・アイドリングストップの啓発と励行
- 2 建設廃棄物の分別徹底で、建設リサイクルの推進
- 3 事務所では節水を、建設現場では濁水監視の励行及びオイル吸着材の設置
- 4 建設現場では環境に配慮した低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車両を100％使用
- 5 地域環境美化活動への参加

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価欄：○目標達成 △目標値未達成（105%以内） ×目標未達成

方針	取組項目	年度	2020年度	2024年度		取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績) (対基準 値)	評価		
事務所などの電気使用 量及び重機車両の燃料 使用量を削減し、CO ₂ の排出量を削減しま す。	電力使用量の削 減 (kWh)	%	96%	62.2%	○	節電に気を付けて取り 組んでいるので、エア コンの温度設定は引続 き意識して取組んで行 きたい	総務部
		使用量	11,152	7,225			
		(kg-CO2)	3,546	2,298			
	ガソリン使用量 の削減 (単位：L)	%	96%	97.3%	△	エコドライブ、アイド リングストップ、重機 の効率的な稼働を実施 した。今後も継続す る。	工事部
		使用量	2,710	2,746			
		(kg-CO2)	6,286	6,372			
	軽油使用量の削 減 (単位：L) 建設現場	%	96%	95.9%	○		
		使用量	1,159	1,159			
		(kg-CO2)	2,991	2,989			
	二酸化炭素排出 量の削減	%	96%	87.3%	○		
		(kg-CO2)	12,824	11,658			
建設現場の廃棄物に関し て、適正処理及びリサイ クル	建設リサイクルで適正 処理する 建設現場（単 位：％）	%	－	－	○	産業廃棄物の分別を徹 底しリサイクルした。今 後も継続する。	工事部
		建設リサイ クル率	85%	89.6%			
建設現場から排水する 水の汚染、汚濁を防止 し、事業所での節水に 努め、水の使用量を削 減します。	事業所利用水の 削減 (単位：m ³)	%	96%	101.8%	△	手洗いは多くなってい るが、洗車などの節水 に努めた	工事部
		(m ³ /年)	272	288			
	オイル吸着材の 設置と適正管理 建設現場（単 位：％）	%	－	100%	○	全車両にオイル吸着材 を配置した	
		車輛 積載率	100%	100%			
環境に配慮した施工を 推進します。	環境配慮施工の 実施 建設現場（単 位：％）	%	－	100%	○	全ての工事現場で環境 負荷の少ない建設機械 を使用した今後も環境 には十分配慮してい きたい	工事部
		配慮 施工率	100%	100%			
環境活動の社会貢献を 推進します。	地域の美化活動 に参加する。 （単位：回）	回数	－	100%	○	地域の美化活動に引き 続き参加していきたい	総務部
		(以上/年)	3	3			

次年度の主な取組内容

- 購入電力の調整後排出係数は、関西電力2019年の0.318kg-CO₂/kWhを5ヶ年間固定として取組む。
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して性状を確認して建設リサイクル85%に取組む。
- 水使用量については、事務所、作業所、建設現場における水使用量の削減に取組むと共に、オイル吸着材の設置に取組む
- 環境配慮施工は低燃費、低騒音・低振動型の建設機械を100%使用に取組む。
- 社会貢献活動は地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進する。
- 上記の目標のほか、建設現場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組む。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の管理、再資源化、排出	遵守
水質汚濁防止法	現場での事故等による汚濁水排出の応急措置と届出	該当事故なし
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
大気汚染防止法	対象特定工事の届出、規制値の遵守	遵守
家電リサイクル法	対象製品のリサイクル券	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
資源有効利用促進法	パソコン等のリサイクル券	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検記録と保存	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

本年度は、電力使用量、軽油使用量、建設リサイクルの項目で目標を達成することが出来た。ただ、ガソリン使用量は、現場回りが増え、水使用量も目標を少し超過したが、大きな問題はなかった。従業員全員の環境への意識が徹底してきていることも要因であると思われる。建設業では工事の種類により未達もありうることも想定し、地道に環境への取り組みを行っていきたい。次年度は、環境経営方針、実施体制、環境経営目標、環境経営計画に変更はない。

環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり

環境経営目標・計画

☒ 変更なし

☐ 変更あり

実施体制他

☒ 変更なし

☐ 変更あり